

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2022年7月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで60年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2023年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

**2022年7月度ギャラクシー賞月間賞****NHKスペシャル「鯨獲りの海」**

7月3日放送 21:00~21:50 日本放送協会

3年前に再開した日本の商業捕鯨の実態を捕鯨船に同乗して取材。鯨獲りの男たちの日々は緊張感に満ちているが、彼らの秘めている鯨への畏敬の気持ちは充分伝わってくる。捕鯨の伝統に従う彼らの行動が番組の奥行きを生んでいるが、現状の捕鯨は最盛期の100分の1の規模だという。その状況で、捕鯨の伝統の継承が問われている。

**アメトーーク！「ダチョウ倶楽部を考えようSP」**

7月19日放送 20:00~21:48 テレビ朝日

故・上島竜兵の足跡を豊富なVTRで振り返った。湿っぽさゼロで有吉弘行や土田晃之ら後輩芸人たちが、生前と変わらず上島が芸として作りあげてきた「受け芸」を明るく偲ぶスタンスに好感。美談に偏らず、飲み会の会計になると上島がぐずりだすなどセコい姿も映し、芸人の個性をくまなく笑いに昇華する「アメトーーク」ならではのメモリアル。出色。

**「LOVE LOVEあいしてる 最終回・吉田拓郎卒業SP」**

7月21日放送 20:00~21:54 フジテレビジョン

過去のVTRなどに懐かしさを感じる一方、番組全体に古びない普遍的な魅力があった。まずKinKi Kids、吉田拓郎、篠原ともえのコンビネーションが抜群で、特に篠原ともえが大人になり、トークに円熟味が増した。そしてゲストを交えた生演奏のパフォーマンスが貴重かつ素晴らしく、音楽バラエティの本質的魅力が凝縮されていた。

**報道1930「激震・旧統一教会と日本政治 問われる政治との距離感」**

7月22日放送 19:30~20:54 BS-TBS

ネットではすでに情報が出回っていても地上波テレビが報道を躊躇する空気を漂わせていた時期に、先陣を切って政界と旧統一教会との関係を報じたこの7月22日放送回はYouTubeでもすごい勢いで再生回数を伸ばした。“報道の自由度”71位の国・日本で、報道のあるべき姿を取り戻す流れをリードしてほしい番組のひとつである。

★詳細は月刊誌「GALAC」2022年10月号に掲載します